

★胃がん検診を受ける方へ★

胃がん検診は、以下の流れで行います。

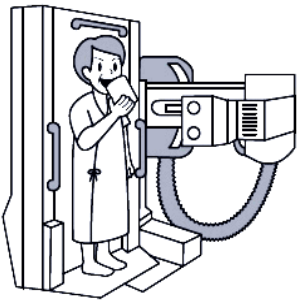
◎胃 X 線撮影

胃を膨らませる発泡剤を飲んだ後にバリウム（造影剤）を飲み、さまざまな角度から胃の内部を X 線で撮影します。

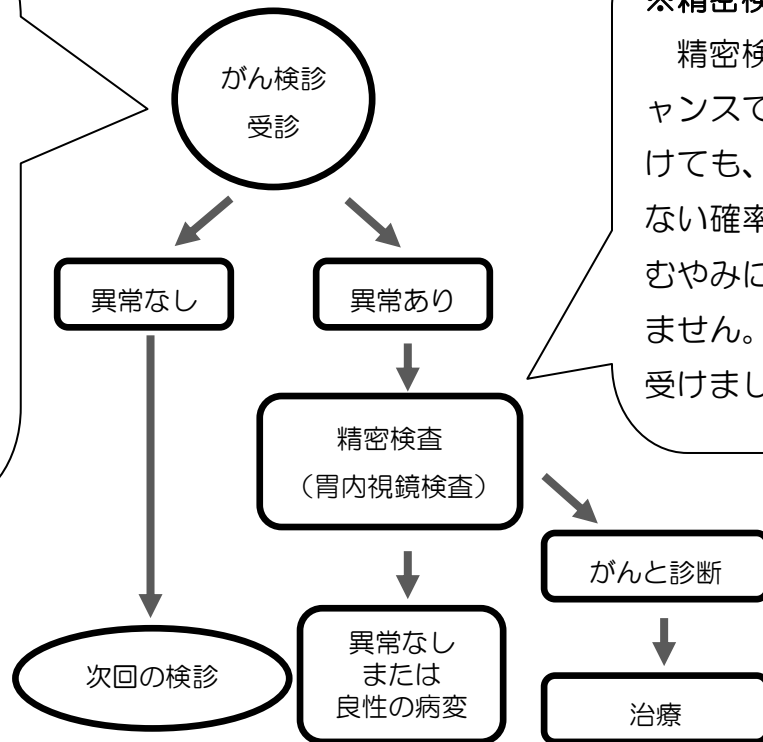
胃の内部の変化が分かるので、胃がんだけでなく潰瘍やポリープなども発見できます。

※検診後の注意点

- 下剤は忘れずにお飲みください。
- バリウムが長時間腸の中に残っていると、便が固くなり、排泄されにくくなります。極めてまれに、腸内に穴が開いたり、便が詰まったりする恐れがあります。今日一日はできるだけ多く水分をとって下さい。



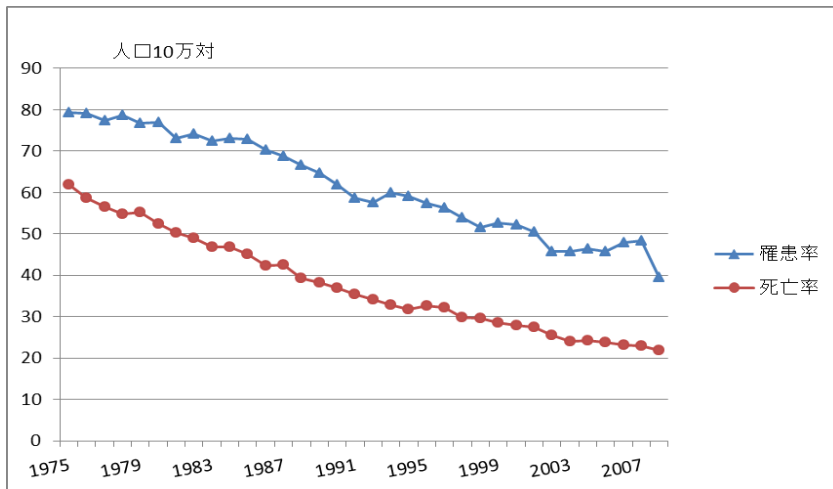
対象：40 歳以上の男女



※精密検査と言われたら…

精密検査は早期発見のチャンスです。精密検査を受けても、実際にはがんではない確率の方が高いので、むやみに怖がる必要はありません。精密検査は必ず受けましょう！

いまだ多い胃がん！！



- がん検診は自覚症状がない方を対象としています。
- 胃がんは、早期に発見し治療をすれば、予後はよくなります。
- 胃の不快感、食欲不振、吐き気が続くなど、異常を感じた場合は、次の検診まで待たず、すぐにお近くの医療機関を受診しましょう。

大阪府立成人病センター がん予防情報センター「統計でみる大阪府のがん」参照

わが国で行われた研究によると、検診を受けることにより、胃がんによる死亡の危険性は半分以上になるといわれています。早期に発見すれば、内視鏡治療も可能です。